

報道関係者各位

2018年11月8日

公益財団法人MSD生命科学財団

第7回万有医学奨励賞受賞者決定について

公益財団法人MSD生命科学財団(東京都千代田区 代表理事:諸岡 健雄、以下MSD生命科学財団)は、第7回万有医学奨励賞 最優秀賞および優秀賞の受賞者が決定したことを発表しました。

万有医学奨励賞は、MSD生命科学財団が行う研究助成事業-生活習慣病領域-の交付者の研究助成期間(2年間)における成果を評価し、特に優秀な成果をあげた方を表彰するものです。

第7回万有医学奨励賞 最優秀賞(1名)および優秀賞(5名)の受賞者にはそれぞれ300万円、100万円の追加助成金が交付されます。

11月3日(土)には、本賞の選考会/授賞式ならびに2018年研究助成交付者の授与式が開催されました。生活習慣病領域の研究に取り組むこれまでの交付者や関係者ら約60名が参集し、万有医学奨励賞受賞者の研究成果に熱心に耳を傾けると共に、活発な意見交換が行われました。

「第7回万有医学奨励賞受賞者」および「研究助成 2018-生活習慣病領域-」の詳細は次ページをご参照ください。

MSD生命科学財団は、近年、拡大と低年齢化が大きな社会問題になっている生活習慣病の若手研究者の研究を支援することにより、若手医学研究者の育成と医療の進歩、更にはその結果としての国民全体の健康増進に貢献したいと考えています。

公益財団法人MSD生命科学財団について

MSD生命科学財団の活動の歴史は、旧万有製薬株式会社(現MSD株式会社)が1989年から社会貢献活動の一環として、有機合成化学分野を支援していた『万有シンポジウム』の開催に端を発しています。その後、社会の要請に応える形で、循環器領域における海外留学助成の活動が開始され、人類の疾病予防と治療に関する生命科学の研究の奨励と科学者や研究者の育成を目的に、さらに活動を継続的に発展させるため、2002年に万有生命科学振興国際交流財団が設立されました(2011年に公益財団法人に移行)。

2010年に出捐会社であった万有製薬株式会社がシェリング・プラウ株式会社と統合し、MSD株式会社となりました。

2016年に出捐会社であるMSD株式会社とその親会社から名称等使用に関する許諾を得て、財団名称を「公益財団法人MSD生命科学財団」と変更いたしました。

当財団は、設立以来、新たな研究領域への支援や留学助成の領域拡大など、事業内容のより一層の充実に取り組んでおります。活動の実施にあたり、各分野の第一人者の先生方をはじめ様々な関係者の皆様から、次世代の研究者育成および学術振興の観点から継続的かつ多大なご支援をいただいております。

公益財団法人MSD生命科学財団

担当: 界外(携帯:080-3599-8467)

TEL:03-6272-1098 FAX:03-6238-9128

URL:<https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/>



第7回万有医学奨励賞受賞者

(50音順・敬称略)

最優秀賞(追加助成 300 万円)

氏名	所属	研究テーマ
藤島 裕也	大阪大学医学系研究科 内分泌・代謝内科学	アディポネクチンの組織集積のメカニズムと、その抗動脈硬化作用の解明

別紙:「第7回万有医学奨励賞最優秀賞 受賞者」写真

優秀賞(追加助成 100 万円)

氏名	所属	研究テーマ
椎木 幾久子	山口大学医学部 分子代謝制御学講座	新規糖尿病治療標的の創出を目指した膵β細胞脱分化機構解明に関する研究
田中 大祐	京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科	若年発症糖尿病患者における、次世代シーケンスを用いた原因遺伝子同定
中村 修平	大阪大学高等共創研究院大学院 生命機能研究科	オートファジーとTFEB転写因子による協調的な損傷リソソーム修復機構の解析
仲矢 道雄	九州大学大学院 薬学研究院	心肥大時における死細胞除去の分子メカニズムの解明
中山 幸輝	東京大学医学部 循環器内科学	新たな心機能制御要素としての心臓マクロファージの機能解析

『研究助成 -生活習慣病領域-』概要

■研究課題: 生活習慣病に関する疾病の原因解明と新たな治療法の開発

- 循環器分野
- 動脈硬化分野
- 糖尿病分野

■研究助成金額: 1件あたり200万円(100万円×2年間) 20名程度(毎年度選考)

■応募資格(抜粋):

- 年齢が満40歳以下であること
- 応募者の国籍は問わないが、日本国内における研究を対象とする
- 日本循環器学会・日本高血圧学会・日本動脈硬化学会・日本糖尿病学会いずれかの会員であること